

GUNMA
HOUSING
AWARD
2018

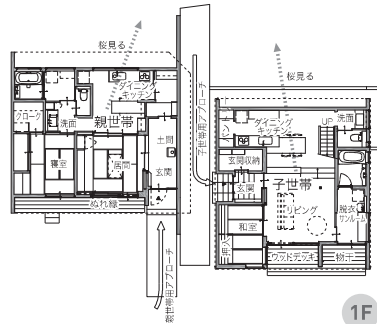
優良賞

つながりの家

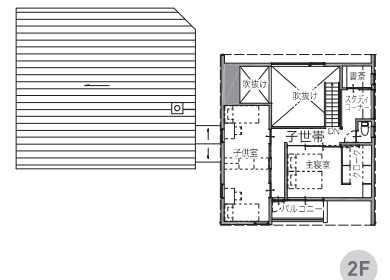
〈つながりのいえ〉

設計者 ATELIER N

施工者 株式会社 津久井工務店



平面図



CONCEPT

設計主旨

住み慣れているが老朽化が進んだおじいさんの家を壊し、建替えによる二世帯住宅を計画。

構造上の耐久性だけでなく、数十年後の家族の姿を想像し、ライフスタイルの変化や世代交代等（機能面での耐久性）に対応できるように構造計画をシンプルにし、将来のメンテナンスを見据えた設備計画、飽きのこない建築デザインを熟慮し提案。思い入れはあるが、解体しなければならぬおじいさんの家の大黒柱を二世帯それぞれのダイニングテーブルの脚として、ご先祖の記憶とともに一番家族の集まる場所に組み込み、思い入れの部分も含め、代々住み継がれるような家を目指した。

二面接道の敷地特徴を生かし、親・子世帯の駐車場・アプローチを対角線上に計画し、距離は近いがコンクリートの壁によって区切った玄関、

二世帯の建物を南北にずらして既存の庭木を眺めることができるが、それぞれの世帯から視線が合わないよう配慮した配置計画などにより、普段の生活においてはお互いに気配を感じずに生活ができるが、何かの時にはすぐに行き来ができ、未永く気兼ねなく二世帯間のつかず離れずの微妙な距離感を一つの大屋根で包み込むようにプライバシーとひろがり両立した分離型二世帯住宅を設計した。

施工面においても数年前から製材しておいて、十分に自然乾燥させた杉、桧材を中心に（一部梁のたわみが出る場所は米松乾燥材）に材料を吟味し、熟練の棟梁と若き大工により墨付け・手刻みにより軸組を組み上げた。仕上げも自然素材中心に仕上げることで、伝統技術の継承とともに環境と健康にも配慮した建築を目指した。